

2024年度
(2023年11月~2024年10月)

環境経営レポート



株式会社 大橋造園土木

2024年12月25日

目次

1.	組織の概要（事業社名、所在地、事業の概要、事業規模等）	環1.2
2.	対象範囲	環1.2
3.	環境経営方針	環3
4.	環境経営目標	環4
5.	環境経営計画	環5-1 環5-2
6.	実施体制含む	環6-1
7.	環境経営目標及び環境経営計画の実績・取組結果とその評価 （実績には二酸化炭素排出量を含む）	環7-1-1. 1- 2. 1-3. 1-4. 1- 5. 1-6. 2-1. 2- 2
8.	環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価	環8
9.	代表者による全体評価と見直しの結果	環9



1. 組織の概要

1. 事業所名及び
代表者氏名

株式会社大橋造園土木
代表取締役 大橋 優

2. 所在地

本 社: 〒812-0863 福岡県福岡市博多区金の隈二丁目2番29号
鳥栖営業所: 〒814-0046 佐賀県鳥栖市真木町1964-4
小郡作業所: 〒838-0141 福岡県小郡市小郡1966-1
大野城営業所: 〒816-0981福岡県大野城市若草1-3-5

(本社)

TEL: 092-503-0202

FAX: 092-503-2272

E-mail: o-zouen@aurora.ocn.ne.jp

3. 事業の概要

造園・土木工事業

<許可業種>

- ・特定建設業 許可 国土交通大臣許可(特-3)第16667号
造園工事業
- ・一般建設業 許可 国土交通大臣許可(般-3)第16667号
土木工事業

4. 事業の規模等

①設立年月日

創業 :1980年 11月 1日

設立 :1983年 2月 4日

②資本金

2,500万円

③事業年度

前年11月～10月



	単位	2022年度	2023年度	2024年度
工事等の件数	件	23	34	49
売上高	百万円	289	332	346
従業員数	人	13	14	13
事務所床面積	m ²	306	306	306
倉庫床面積	m ²	291	291	291
資機材置場面積	m ²	4,574	4,574	4,574

5.小郡作業所

資機材置場、事業用太陽光発電所

2. 対象範囲

・全組織、全活動

3. 環境経営方針

環境経営方針

《基本理念》

株式会社 大橋造園土木は、造園工事事業活動を通じ

《人類の快適な暮らしと健康、自然との調和》 をモットーに

全従業員が事業活動のあらゆる面で、《地球環境と共存》 し、

《地球環境及び地域社会にやさしさ》を与える企業を目指します。

《環境行動指針》

1. 環境経営システムを構築し、次の事項を基本的なテーマ

として取り組みます。



- (1) 使用エネルギー（電気、燃料等）の節減
- (2) 廃棄物排出量の削減とリサイクルの推進
- (3) 水使用量の削減
- (4) 使用する化学物質の適正管理
- (5) 工事に係る騒音・粉塵発生の抑制

2. 環境経営の継続的改善及び働き方改革に努めます。

3. 環境関連法規を遵守し、環境意識レベルの向上に努めます。

4. 行政機関・団体などの環境保全施策に協力すると共に、

地域社会における環境保全活動に対し積極的に参加します。

5. 環境活動レポートを作成し、環境取組の状況を全社員に周知し

一般にも公表します。

2018年11月1日
株式会社大橋造園土木
代表取締役 大橋 優

環境経営目標

環境経営目標		担当部署	単位	基準年度	目標			
				2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	
1	二酸化炭素排出量の削減	本社等	電気使用量	kWh	8,887.00	8,798.13以下 (△1%)	8,918.00以下 (△2%)	8,827.00以下 (△3%)
			ガソリン使用量	L	747.78	740.30以下 (△1%)	732.82以下 (△2%)	725.35以下 (△3%)
			液化石油ガス	kg	2.60	0.26以下 (△90%)	0.23以下 (△91%)	0.21以下 (△92%)
			小計	kg-CO ₂	4,824.31	4,776.07以下 (△1%)	4,727.82以下 (△2%)	4,679.58以下 (△3%)
	現場	ガソリン使用量	L	10,271.10	10,168.39以下 (△1%)	10,065.68以下 (△2%)	9,962.97以下 (△3%)	
		軽油使用量	L	11,055.20	10,944.65以下 (△1%)	10,834.10以下 (△2%)	10,723.54以下 (△3%)	
		小計	kg-CO ₂	52,351.37	51,827.86以下 (△1%)	51,304.34以下 (△2%)	50,780.83以下 (△3%)	
計			kg-CO ₂	57,175.68	56,603.92以下 (△1%)	56,489.57以下 (△2%)	55,460.41以下 (△3%)	
2	一般廃棄物排出量の削減	事務所	t	0.18	0.18以下	0.18以下	0.18以下	
	一廃(木くず等)のリサイクル率	現場	%	-		実態把握	80% (目標値の想定)	
	産廃物のリサイクル率	現場	%	-	80%以上	80%以上	80%以上	
3	水使用量の削減	事務所	m ³	108.00	54.以下 (△50%)	52.92以下 (△49%)	51.84以下 (△48%)	
		現場	m ³	-	適正使用	適正使用	適正使用	
4	化学物質の適正管理	現場	-	適正管理	適正管理	適正管理	適正管理	
5	騒音・粉塵発生の抑制	現場	-	実施	実施	実施	実施	
6	地域社会貢献	事務所	人	4	全員参加	全員参加	全員参加	
		現場	人	9	全員参加		全員参加	
7	太陽光発電所	本社	kWh	-	-	-	-	

<備考>

※軽油使用量は工事の内容や量に左右されることから「目標値」でなく「目安値」とする。
 ※購入電力の排出係数は0.347kg-CO₂/kWh(九電調整後 2018年度)を使用しました。
 ※太陽光発電量については目標設定に馴染まないため設定しない。

5. 環境経営計画



【本社等】

1. 二酸化炭素排出量の削減(責任者: 小野)

取組目標	責任者	活動計画	スケジュール			
			11～1月	2～4月	5～7月	8～10月
1 ガソリン 使用量の 削減	小野	1 タイヤの空気圧をこまめにチェック	←			→
		2 法定速度の厳守、急発進急加速の禁止	←			→
		3 アイドリングストップの継続実施	←			→
		4 エアコンは必要最低限で使用する	←		→	←
		5 効率的な走行ルートの設定	←			→
		6 通勤自家用車のハイブリット車及び電気自動車への乗り換えの推進	←			→
2 電気使用量の 削減	小野	1 使用していない部屋の電気は消灯する	←			→
		2 夜間・休日のパソコン、プリンター等の電源を切る	←			→
		3 退社時の消し忘れをしない	←			→
		4 エアコンの適正温度の遵守(夏季26～28℃・冬季21～23℃)	←		→	←
		5 省エネ機械機種への変更	←			→
		6 コピー機の節電モード(1分間)の実施	←			→
3 液化石油ガス 使用量の削減	小野	1 効率よく使用する	←			→
		2 湯沸し器の種火をこまめに消す	←			→

2. 一般廃棄物排出量の削減(責任者: 小野)

取組目標	責任者	活動計画	スケジュール			
			11～1月	2～4月	5～7月	8～10月
1 ゴミ・紙類の 排出量の削減	小野	1 ゴミの分別の徹底	←			→
		2 現場からゴミを持ち帰った場合は必ず分別して排出する	←			→
		3 ペットボトル、アルミ缶、新聞紙、チラシ等は、再生資源として処理	←			→
		4 空き缶は潰して減量化を図る	←			→
		5 詰め替え可能な製品を優先的に導入する	←			→
		6 社内で使用する用紙は、原則裏紙を使用する	←			→
		7 ミスコピー、ミスプリントを無くす為、印刷前の確認をする	←			→
		8 両面印刷機能を有効活用する	←			→
		9 ペーパーレスの実践(パソコンに保存)	←			→

3. 水使用量の削減(責任者: 小野)

取組目標	責任者	活動計画	スケジュール			
			11～1月	2～4月	5～7月	8～10月
1 水使用量の 削減	小野	1 水の流しっぱなしの使用をしない	←			→
		2 適正水量で(水圧)で使用する	←			→
		3 こまめに蛇口をしめる	←			→
		4 節水の張り紙を蛇口の前に掲示する	←			→
		5 定期的に漏水チェックをする	↔	↔	↔	↔

4. 地域社会貢献(責任者: 大橋)

取組目標	責任者	活動計画	スケジュール			
			11～1月	2～4月	5～7月	8～10月
1 地域活動参加	大橋	1 事務所周辺の定期清掃の実施・一人一花運動の実施	←			→
		2 地域活動への積極的参加	←			→

5. 太陽光発電(責任者: 大橋)

取組目標	責任者	活動計画	スケジュール			
			11～1月	2～4月	5～7月	8～10月
1 再生可能エネルギー	大橋	1 太陽光パネルのメンテナンスの徹底	←			→

【建設現場等】

1. 産業廃棄物排出量の削減(責任者: 倉富)

取組目標	責任者	活動計画	スケジュール			
			11～1月	2～4月	5～7月	8～10月
1 産廃物処理時の分別の徹底	倉富	1 廃棄物の分別収集を徹底する	<			>
		2 無駄な材料が出ないよう、計画的に資材の搬入を行う	<			>
		3 廃棄物処理のマニフェスト管理を徹底する	<			>

2. 産業廃棄物のリサイクル率の向上(責任者: 倉富)

取組目標	責任者	活動計画	スケジュール			
			11～1月	2～4月	5～7月	8～10月
1 産廃物のリサイクル率	倉富	1 リサイクルできる資材を優先的に導入する	<			>
		2 マニフェスト伝票での適正処理確認をする	<			>

3. 使用エネルギーの節減(責任者: 倉富)

取組目標	責任者	活動計画	スケジュール			
			11～1月	2～4月	5～7月	8～10月
1 灯油使用量の削減	倉富	1 灯油使用なし				
2 ガソリン使用量の削減	倉富	1 タイヤの空気圧をこまめにチェックする	<			>
		2 法定速度の厳守、急発進・急加速の禁止	<			>
		3 アイドリングストップを実施する	<			>
		4 排気ブレーキは必要最低限で使用する	<			>
		5 早めのシフトアップで回転数を上げ過ぎないようにする	<			>
		6 現場移動は乗り合わせで行う	<			>
		7 効率的な走行ルートの設定	<			>
3 軽油使用量の削減	倉富	1 法定速度の厳守、急発進・急加速の禁止	<			>
		2 アイドリングストップを実施する	<			>
		3 早めのシフトアップで回転数を上げ過ぎないようにする	<			>
		4 仕事内容に応じた重機を選定する。	<			>
		5 車両や重機をリースする場合は、省エネ仕様車を選定する	<			>

4. 水使用量の削減(責任者: 倉富)

取組目標	責任者	活動計画	スケジュール			
			11～1月	2～4月	5～7月	8～10月
1 水使用量の削減	倉富	1 蛇口を確認する	<			>
		2 洗車をする場合は、最小限度の水量で行う	<			>
		3 散水する場合は、放流水を使用する	<			>
		4 定期的な漏水チェックする	<			>
		5 雨水の利用の推進	<			>

5. 化学物質の適正管理(責任者: 倉富)

取組目標	責任者	活動計画	スケジュール			
			11～1月	2～4月	5～7月	8～10月
1 スチオンの使用量削減	倉富	1 PRTR制度対象物質の使用はしない。				

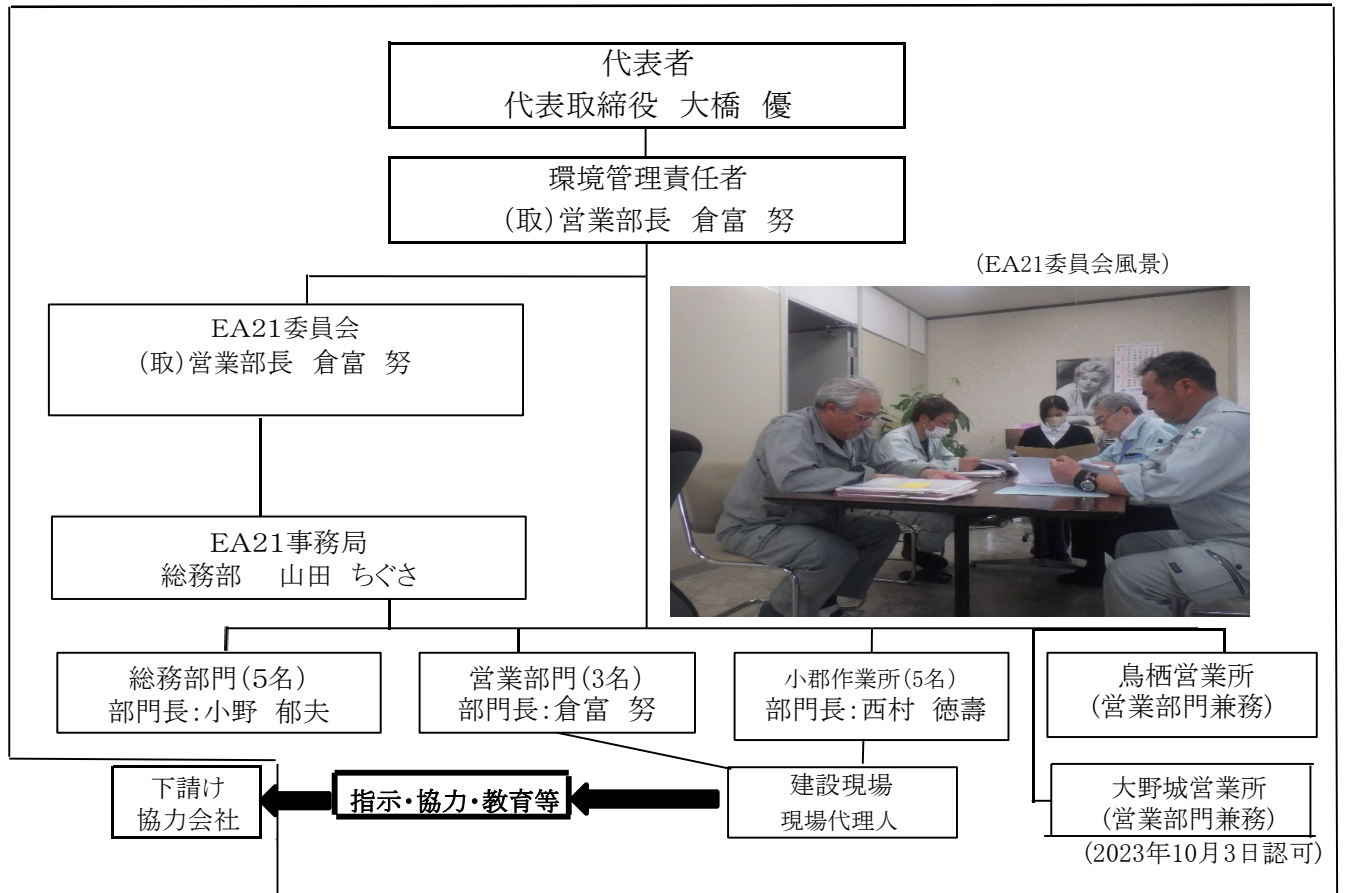
6. 騒音・粉塵発生の抑制(責任者: 倉富)

取組目標	責任者	活動計画	スケジュール			
			11～1月	2～4月	5～7月	8～10月
1 騒音発生の抑制	倉富	1 時間外での作業は事前に連絡・確認する	<			>
		2 19時以降の作業禁止(就業時間の厳守)	<			>
		3 低騒音の機器の使用	<			>
		4 住民からの苦情・要望を受け付ける	<			>
2 粉塵発生の抑制	倉富	1 乾燥時には灌水を行う	<			>
		2 現場内及び出入口では、粉塵を起こさない	<			>
		3 車輛の急発進禁止	<			>
		4 住民からの苦情・要望を受け付ける	<			>

7. 地域社会貢献(責任者: 大橋)

取組目標	責任者	活動計画	スケジュール			
			11～1月	2～4月	5～7月	8～10月
1 地域活動参加	大橋	1 現場工事開始時と終了時の周辺清掃・除草作業	<			>
		2 現場事務所の周りにプランターを設置する	<			>

6. 環境経営計画に基づき実施した取り組み内容(実施体制)



《役割分担表》

所 属	役割・責任・権限
代表者	<ul style="list-style-type: none"> 代表として環境経営全般について責任と権限を持つ。 環境方針を作成・見直し、従業員に周知する。 環境責任者、EA21委員会委員、EA21事務局員を任命する。 EA21全体の取り組み状況に関し評価、見直しを実施する。 環境への取組を実施するため資源(人材・資材・金)を準備する。
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> EA21がドラインの要求事項を満たす環境経営システムを構築し実行し、環境実績を向上させ結果を、社長に報告する。
EA21委員会	<ul style="list-style-type: none"> 3ヶ月に1回開催し、環境目標の達成状況及び環境活動計画の実行状況を審議する。
EA21事務局	<ul style="list-style-type: none"> 環境管理責任者を補佐し、EA21文書及び記録類の作成・維持管理を行う。 環境情報の収集と伝達を行う。
部門長	<ul style="list-style-type: none"> 環境方針、自部門の環境目標、環境活動計画を全員に周知する。 自部門の環境目標、環境活動計画の達成と実績の把握を行う。 自部門で発生した問題点の是正処置、予防処置を実施する。 自部門に関する法規制等を遵守する。 自部門に関する緊急事態への準備及び対応の訓練を実施する。 自部門の教育・訓練を実施する
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> 環境方針の理解と環境への取組の重要性を自覚する。 決められたことを確実に守り、積極的に環境活動に参加する。

6. 環境経営計画に基づき実施した取り組み内容

☆ 省エネ機器への取替



(省エネタイプのエアコンへ)



(エアコンの適正温度の厳守)



(LEDライトへ交換)

☆ 低燃費車輛への取替

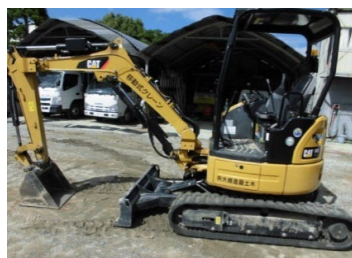


(社用車の一部をエコカーに替えた)

☆ 低騒音機器への取替



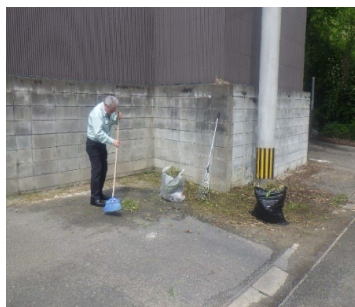
(低騒音の発電機に替えた)



(低騒音・排ガス規制の重機に替えた)



☆ ボランティア活動 一人一花運動・環境改善



現場周辺の公園や歩道の清掃・除草や一人一花運動の一環で事務所前のプランターに花を植えた。又、工事現場事務所の周りにプランターを置いた。

7.太陽光発電



設置所在地: 福岡県小郡市小郡1966-1

定格出力: 200.0kW

7.環境経営目標及び環境経営計画の実績・取り組み結果とその評価 (実績には二酸化炭素排出量を含む)

7-1.環境経営目標の達成状況とその評価

《 実績 》		担当部署	評価単位	目標	2023/11月～ 2024/10月 実績値	達成率	実績
二酸化炭素排出量の削減	電気使用量 (九電2018年度:0.347)	本社等	kWh	8,798.13以下	8,838.00	99.5%	△
	ガソリン使用量		ℓ	740.3以下	770.95	96.0%	△
	液化石油ガス		m ³	0.26	21.20	0.01%	×
	小計		kg-CO ₂	4,776.07以下	4,918.99	97.0%	△
	ガソリン使用量	現場	ℓ	10,168.39以下	12,648.57	80.4%	×
	※ 軽油使用量		ℓ	10,944.65以下	9,084.57	120.1%	-
	灯油使用量		ℓ	0.00	0.00	0	-
	小計		kg-CO ₂	51,827.86以下	52,782.87	98.10%	△
	総二酸化炭素排出量	総計	kg-CO ₂	56,603.93以下	57,701.86	98.09%	△
一般廃棄物排出量の削減	事務所	t	0.18以下	0.21	85.70%	△	
産業廃棄物(剪定枝)のリサイクル率の推進	現場	%	-	-	-	-	
産業廃棄物のリサイクル率の推進	現場	%	80%以上	100.00%	-	-	
水使用量の削減	水使用量	事務所	m ³	54.0以下	68.00	79.4%	×
	水使用量	現場	m ³	適正使用	適正使用	-	
排出ガスの発生の抑制	事務所	-	適正管理	適正管理	-	-	
化学物質の適正管理	現場	-	適正管理	適正管理	-	-	
騒音・粉塵発生の抑制	現場	実施	実施	実施	-	-	
地域社会貢献の活動	活動参加者数	事務所	人	全員参加	参加	-	-
	活動参加者数	現場	人	全員参加	参加	-	-
再生可能エネルギー	太陽光発電	本社等	kWh	-	-	-	-

達成状況の判定 ○:達成率≧100% △:100>達成率≧85 ×:達成率<85 *達成率=目安÷実績×100

※軽油使用量の目標は工事内容の大小によって使用量が大きく異なるため、目標設定が困難であり目安とし達成としない。

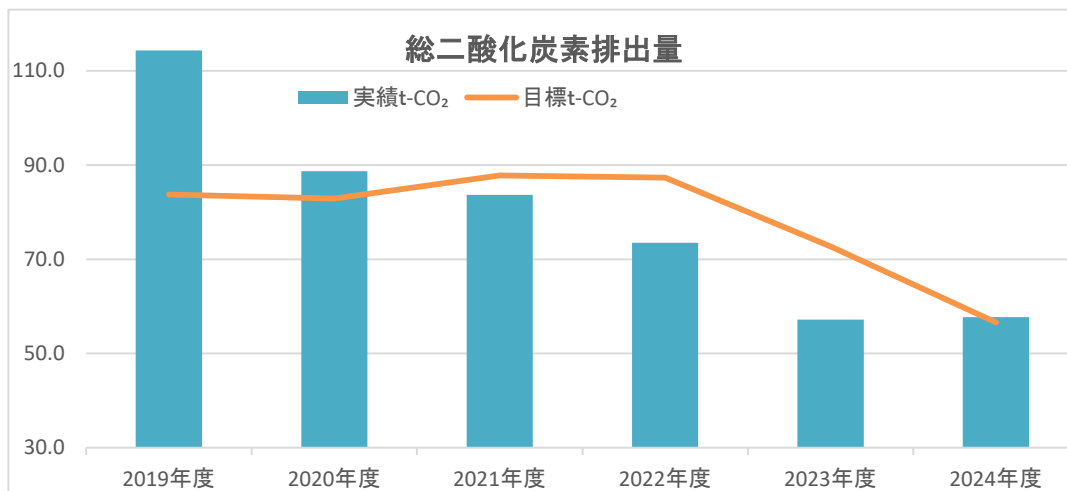
《 評価 》

総評	建設現場等ガソリンと建設現場等の軽油の使用量が二酸化炭素排出量の91.5%をしめている。2024年度はガソリンの使用量が増加した影響が大きく、軽油使用量を削減したものの総二酸化炭素排出は目標を達成しなかった。他の項目は計画的に取り組んでいる。		
二酸化炭素排出量の削減	電気	事務所・営業所	2023年10月から12月の3か月入寮者1名いたが、年間を通して影響はなく毎日の節電意識により99.5%の達成となった。
	ガソリン	現場	2024年5月から背振山(往復70km)の工事受注があり大幅に増加した。
		事務所	背振山の工事受注に共にい事務所より毎週1回背振山に行ったため使用量が増加した。
	液化石油ガス	事務所	2023年10月から12月の3か月入寮者1名による風呂使用で増加した。
	軽油	現場	大型重機使用の現場が少なく軽油使用量が減少した。過去5年平均と比較すると大幅に減少した
	灯油	事務所・現場	暖房器具を電化し、灯油の使用なし。
総二酸化炭素	事務所・現場	遠隔地(背振山)の工事によるガソリン使用量の増加が主な原因で、二酸化炭素排出量が目標達成できなかった。省エネ運転は今後も継続していきます。	
一般廃棄物排出量の削減	事務所	コピー時は裏紙を使用するなどして発生を抑制しているが、現場で捨てられない廃棄物を時々持ち帰ってくる。今後極力ペーパーレスをめざします。	
一般廃棄物(剪定枝)のリサイクル率	現場	実態把握	
産業廃棄物リサイクル率の推進	現場	意識的にリサイクル率の向上に努めている。	
水使用量の削減	事務所	2023年10月から12月の3か月入寮者1名により風呂使用により予定より約16m ³ 増加した。	
	現場	現場での水の使用無し	
化学物質の適正管理	現場	使用無。	
騒音・粉塵発生の抑制	現場	重機は低騒音、排気ガス抑制型使用。今後も継続して行く。	
地域社会貢献活動の推進	事務所	事務所周辺の清掃、福岡市推奨の一人一花運動に参加した。事務所玄関にプランターを置いた。	
	現場	現場周辺の清掃、除草などを行い地域の美化に努めた。また、工事事務所の周りにプランターを設置、今後も継続して行く。	
再生可能エネルギー	本社	太陽光発電は自然に左右され目標設置は困難であるが、常に100%の発電が出来るようにパネルのメンテナンスの徹底する。	

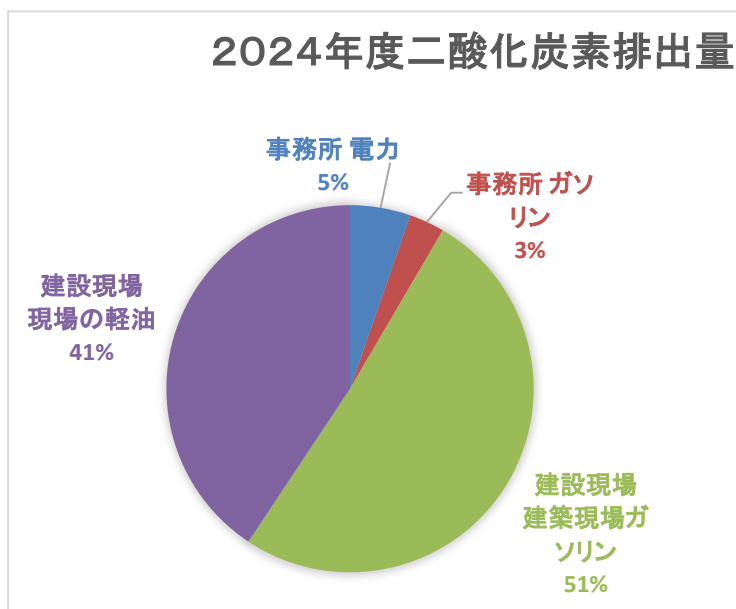
7-1-2 総二酸化炭素排出量

年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
目標t-CO ₂	83.7	82.9	87.8	87.3	72.7	56.6
実績t-CO ₂	114.3	88.7	83.7	73.5	57.2	57.7

※2024年度に目標値(2023年度実績)を見直しました。



2024年度二酸化炭素排出量(t-CO)		57.68
事務所	電力	3.07
	ガソリン	1.79
建設現場	建築現場ガソリン	29.34
	現場の軽油	23.44
事務所	石油ガス	0.04



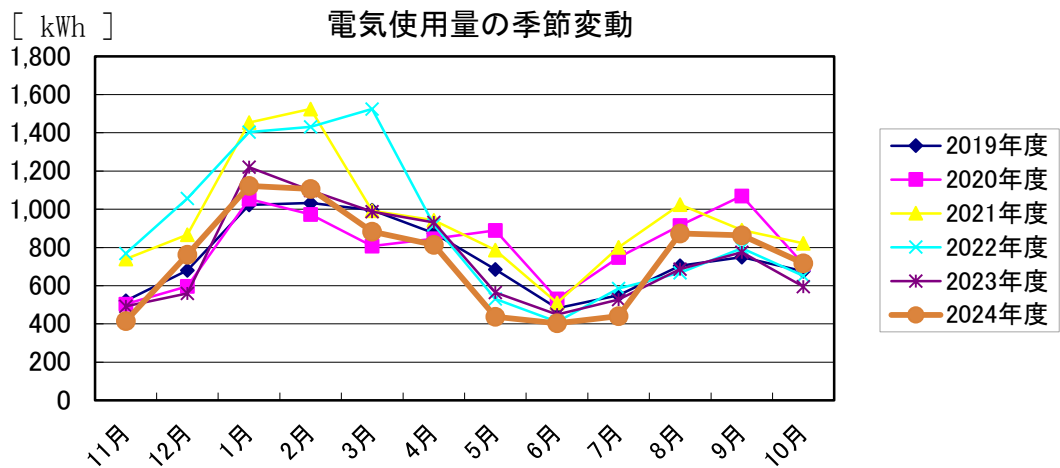
《各年度の実績を踏まえて》

	増減の要因	実施した対策など
2019年度	年度末工事と、下請け工事(敷地造成)で大型重機3台がフル稼働していたため。	重機のアイドリングストップの禁止。重機からオペレーターが離れる時のエンジンストップの徹底を図った
2020年度	作業用現場数の減少と、エコ意識の向上により前年度比で削減できた。	現場への移動に際し、予定時間より早く出発し、法定速度を厳守し乗り合いで行動した
2021年度	今年度は大型使用現場が少なかった。	大型重機と小型重機の使い方によつて軽油の使用量を削減させる。
2022年度	前半は大型重機をしようする工事が少なかった。後半は重機使用の現場が増加したものの、前期比84%だった。	重機のアイドリングストップの禁止。重機からオペレーターが離れる時のエンジンストップの徹底を図った
2023年度	工事数は多かったが、大型重機使用の現場が少なかった。	現場への移動に際し、予定時間より早く出発し、法定速度を厳守し乗り合いで行動した
2024年度	工事の件数はそんなに多くはなかったが、工事現場が遠く、相乗りが出来ずに、直行直帰者がほとんどでガソリン使用量が多くなった。事務所の使用量利用も増加した。	殆どの現場の勤務形態を働き方改革の一環として週休二日制にし車輛の使用量と労働時間の縮小をはかった。

7-1-3. 電気使用量

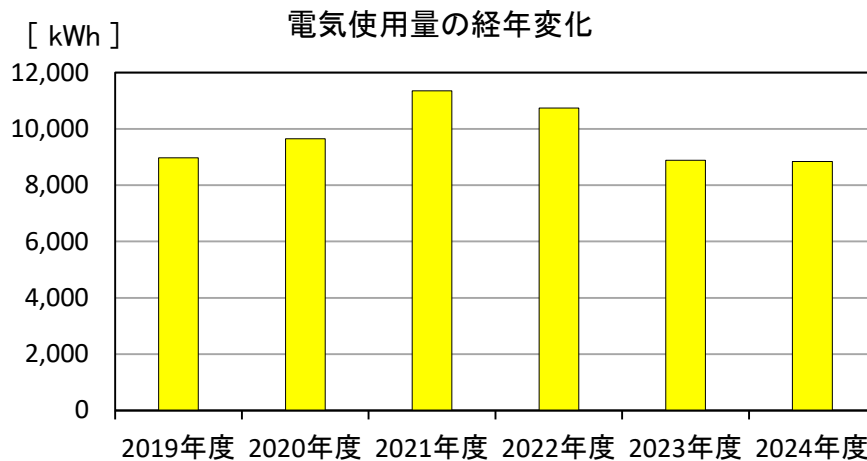
≪ 電気使用量 [kWh] ≫

年度	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	年合計
2019年度	521	680	1,022	1,033	995	875	685	482	550	704	750	676	8,973
2020年度	504	597	1,053	973	807	846	890	531	748	915	1,070	713	9,647
2021年度	739	867	1,453	1,525	993	942	787	510	801	1,025	891	822	11,355
2022年度	769	1,056	1,404	1,431	1,525	919	530	411	586	667	796	652	10,746
2023年度	492	559	1,220	1,098	988	931	565	449	528	687	775	595	8,887
2024年度	415	762	1,122	1,107	883	813	438	403	440	873	864	718	8,838
月合計	3,440	4,521	7,274	7,167	6,191	5,326	3,895	2,786	3,653	4,871	5,146	4,176	58,446
半期計	5,102						3,736						8,838
%	57.7%						42.3%						100.0%



2024年度は記録的な猛暑の連続でエアコンはフル稼働であったが、エアコン設定温度28℃を守りながら窓・ドアの開閉はしっかりとし、5時退社で乗り切りました。

wg94。



エアコンの使用、不必要な電気のOFF、働き方改革による、退社時間の厳守により、使用量が過去5年間で最も少なかった。

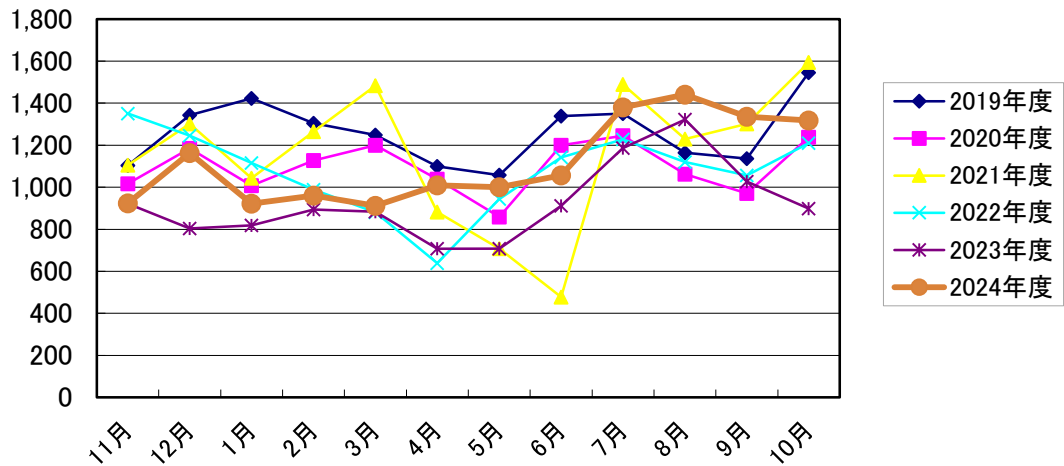
7-1-4. ガソリン使用量

《 ガソリン使用量 [L] 》

年度	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	年合計
2019年度	1,104	1,343	1,423	1,305	1,248	1,100	1,058	1,338	1,351	1,164	1,137	1,546	15,116
2020年度	1,016	1,185	1,008	1,127	1,200	1,039	859	1,199	1,245	1,063	971	1,238	13,150
2021年度	1,105	1,301	1,044	1,264	1,483	882	708	477	1,489	1,230	1,301	1,594	13,877
2022年度	1,351	1,245	1,115	989	880	639	944	1,142	1,227	1,120	1,056	1,210	12,918
2023年度	922	804	818	894	884	707	708	912	1,187	1,322	1,027	898	11,082
2024年度	924	1,163	921	960	912	1,009	1,000	1,057	1,380	1,441	1,336	1,318	13,420
月合計	6,421	7,041	6,330	6,538	6,607	5,376	5,276	6,126	7,879	7,340	6,828	1,141	72,901
半期計	5,888						7,532						13,420
%	43.9%						56.1%						100.0%

[L]

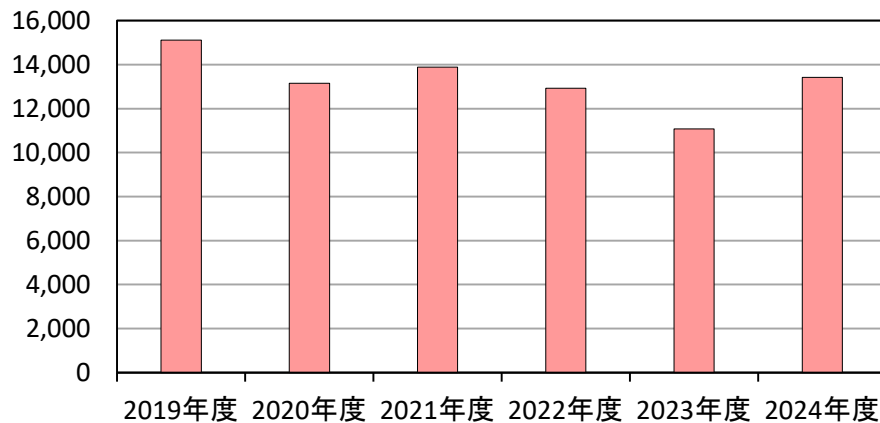
ガソリン使用量の季節変動



ガソリン使用量については、2024年5月から背振山(往復70km)の工事を受注し、現場直行ルートが4方向からになり乗り合いが出来ずに大幅な増加となった。

[L]

ガソリン使用量の経年変化

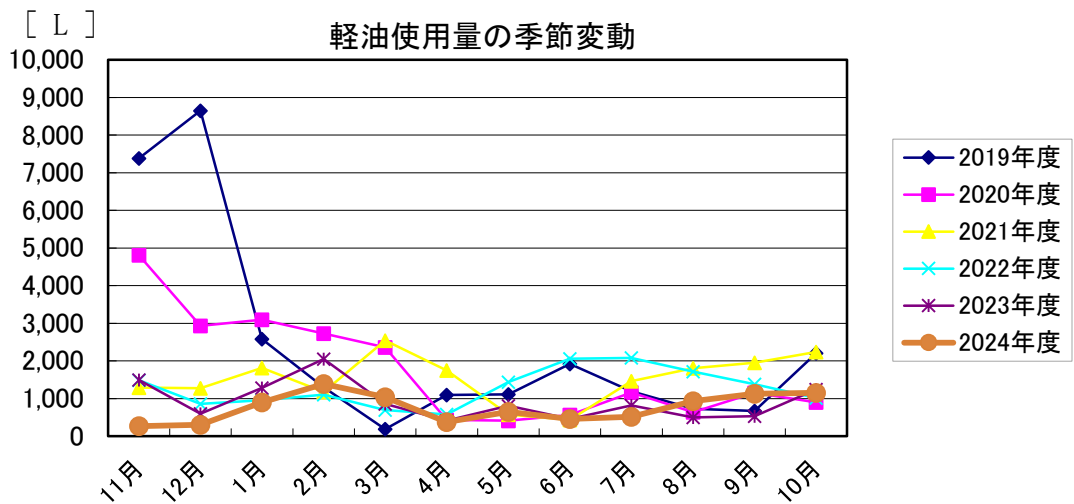


ガソリン使用量は遠隔地の工事現場や河川の巡回管理などの受注内容によって増減するが、省エネ運転や乗り合い移動などの取組みを行い、継続的な削減を心がける。

7-1-5 軽油使用量

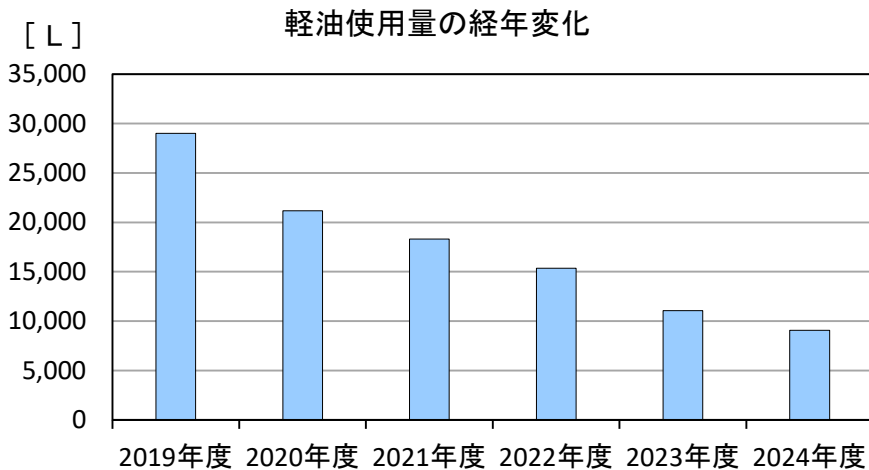
《軽油使用量 [L]》

年度	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	年合計
2019年度	7,378	8,649	2,577	1,295	185	1,093	1,113	1,922	1,190	725	668	2,202	28,996
2020年度	4,809	2,929	3,097	2,727	2,359	436	412	565	1,163	634	1,152	898	21,181
2021年度	1,289	1,271	1,810	1,174	2,543	1,743	572	434	1,461	1,806	1,950	2,241	18,295
2022年度	1,489	860	953	1,103	690	576	1,433	2,059	2,078	1,712	1,377	1,012	15,343
2023年度	1,498	597	1,286	2,050	856	412	809	460	818	501	531	1,239	11,055
2024年度	266	300	897	1,386	1,039	378	642	456	513	931	1,126	1,151	9,084
月合計	16,729	14,606	10,620	9,735	7,672	4,638	4,981	5,896	7,224	6,309	6,804	8,742	103,954
四半期計	4,265						4,819						9,084
%	47.0%						53.0%						100.0%



軽油使用量については、工事内容・工期に大きく左右される。前年度は前期（11月～4月）45.4%、公共工事で重機使用工事が多く後期は（5月～10月）54.6%と前期を上回った。今年度は前年度同様後期に工事が多かったが、大型重機の使用が殆ど無かった。

f

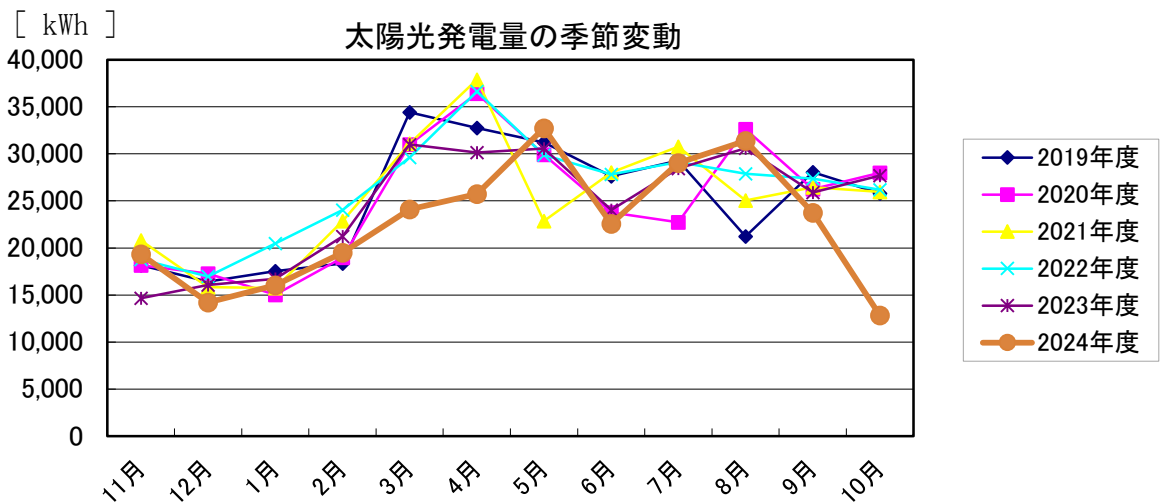


今年度は大規模土工などの工事がなく使用量は大幅に減少した

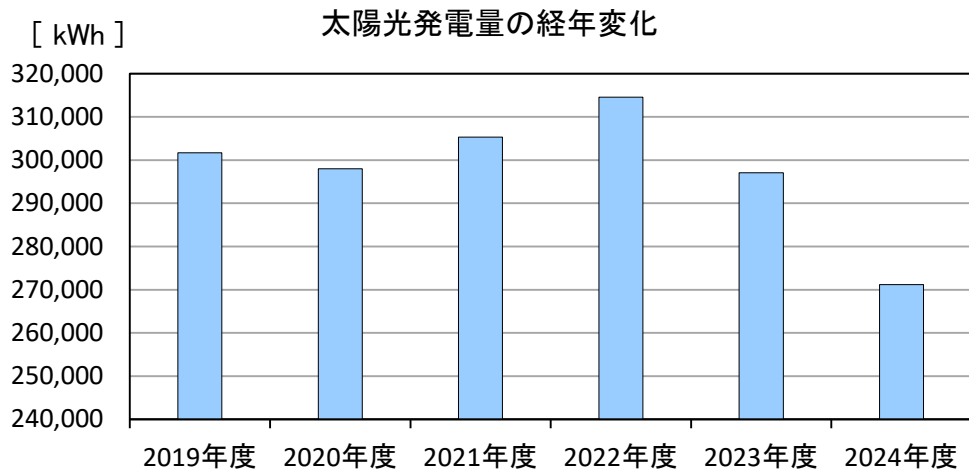
7-1-6 太陽光発電量

《発電量 [kWh] 》

年度	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	年合計
2019年度	18,142	16,426	17,527	18,344	34,417	32,753	31,217	27,614	29,301	21,223	28,038	25,811	301,675
2020年度	18,155	17,267	15,031	18,970	30,999	36,424	29,926	23,761	22,745	32,637	26,250	27,998	297,976
2021年度	20,810	15,828	15,744	22,851	31,074	37,897	22,858	28,009	30,752	25,041	26,443	25,973	305,295
2022年度	18,784	16,968	20,485	24,045	29,609	36,634	29,896	27,817	29,120	27,891	27,375	26,196	314,597
2023年度	14,657	16,060	16,718	21,239	31,002	30,140	30,554	24,022	28,460	30,608	25,905	27,705	297,070
2024年度	19,345	14,215	16,027	19,497	24,095	25,726	32,735	22,559	29,035	31,397	23,726	12,833	271,190
月合計	151,439	108,371	102,267	102,499	125,152	182,638	209,347	178,178	162,548	184,742	173,594	148,468	1,829,243
四半期計	#####						#####						314,597
%	43.2%						56.8%						100.0%



太陽光発電については自然にゆだねるしかないが、化石燃料の削減の一旦を担っている。また、全量を売電しており、環境に寄与している。



2024年度の発電量について2024年10月にCSカードの破損が発生し、又、2機あるパソコンが故障し修理交換に約半月を要したため発電はしているものの計測が出来ていなかった。過去最低の発電量になった。

7-2. 環境経営計画の実施状況とその評価

(24年度)

【本社等】

1. 二酸化炭素排出量の削減（責任者：小野）

取組目標	活動計画	責任者	実施状況	評価と次年度の取組内容
ガソリン使用量の削減	1 タイヤの空気圧をこまめにチェック	小野	○	エコカーの乗り換え、現場への移動の工夫等意識がかなり向上している 次年度は効率的な自動車の運用を継続
	2 法定速度の厳守、急発進・急加速の禁止	小野	○	
	3 アイドリングストップを実施する	小野	○	
	4 エアコンは必要最低限で使用	小野	○	
	5 効率的な走行ルートの設定	小野	○	
	6 通勤用自家用車のハイブリット車及び電気自動車への乗換の推進	小野	○	
電気使用量の削減	1 余分な場所の電気は消灯する。	小野	○	節電意識が高くなり、意欲的に取り組んでいると思う 次年度は節電意識の継続
	2 夜間・休日は、パソコン・プリンター等の主電源を切る	小野	○	
	3 退社時の消し忘れをしない	小野	○	
	4 エアコンの適正温度の遵守	小野	○	
	5 省エネ機器（照明等）への変更	小野	○	
	6 コピー器の節電モード(1分間)の実施	小野	○	
液化石油ガス使用量の削減	1 適正な調理時間で使用する	小野	○	概ね達成出来ている 次年度は使用中止
	2 電気ポットと併用する	小野	○	

2. 一般廃棄物排出量の削減（責任者：小野）

取組目標	活動計画	責任者	実施状況	評価と次年度の取組内容
ゴミ・紙類の排出量の削減	1 ゴミの分別の徹底	小野	○	リサイクル意識はかなり高い 次年度は紙での情報等の保存等は出来るだけペーパーレスにて保存する。
	2 現場からゴミを持ち帰った場合は、必ず分別して排出する。	小野	○	
	3 ペットボトル・アルミ缶・新聞・チラシ類は再生資源として処理をする	小野	○	
	4 空き缶等は、潰して減量化を図る	小野	○	
	5 詰替え可能な製品を優先的に導入する	小野	○	
	6 社内で使用する用紙は、原則裏紙を使用する	小野	○	
	7 ミスコピー・ミスプリントを無くす為、印刷前の確認を徹底する。	小野	○	
	8 両面印刷機能を有効活用する	小野	○	
	9 ペーパーレスの実施（メールに切替える）	小野	○	

3. 水使用量の削減（責任者：小野）

取組目標	活動計画	責任者	実施状況	評価と次年度の取組内容
水使用量の削減	1 水の出しっぱなしをしない。	小野	○	徹底して節水をよびかけている 次年度は節水意識の継続
	2 適正水量(水圧)で使用	小野	○	
	3 蛇口を確認する。	小野	○	
	4 節水の張り紙を蛇口前に掲示する。	小野	○	
	5 定期的に漏水チェックを実施する。	小野	○	

4. 地域社会貢献（責任者：大橋）

取組目標	活動計画	責任者	実施状況	評価と次年度の取組内容
地域活動参加	1 事務所周辺の定期清掃の実施	小野	○	計画通りに実行されている 次年度は継続
	2 地域活動への積極的参加	小野	○	

実施状況の判定 ○:実行されている △:実行されているが十分ではない ×:実行されていない -:判定できない・該当しない

5. 太陽光発電

取組目標	活動計画	責任者	実施状況	評価と次年度の取組内容
再生可能エネルギー	1 太陽光パネル下の除草の実施	大橋	○	計画通りに実行されている 次年度は継続

【建設現場等】

1. 産業廃棄物排出量の削減（責任者：倉富）

取組目標	活動計画	責任者	実施状況	評価と次年度の取組内容
産廃物処理時の分別徹底	1 廃棄物の分別収集を徹底する	倉富	○	各現場間の情報交換を行い、まとめて発注するなどして無駄を削減している。次年度も継続する。
	2 無駄な材料がでないよう、計画的に資材の搬入を行う	倉富	○	
	3 廃棄物処理のマニフェスト管理を徹底する	倉富	○	

2. 産業廃棄物のリサイクル率の向上（責任者：倉富）

取組目標	活動計画	責任者	実施状況	評価と次年度の取組内容
リサイクル率の向上	1 リサイクルできる資材を優先的に導入する。	倉富	○	取り組みがほぼ定着しており、次年度も継続する。
	2 マニフェスト伝票での適正処理確認をする。		○	

3. 二酸化炭素排出量の削減（責任者：倉富）

取組目標	活動計画	責任者	実施状況	評価と次年度の取組内容
灯油使用量の削減	1 こまめな温度調節を行う	倉富	○	取り組みがほぼ定着しており、次年度も継続する。
	2 必要最低限で使用する		○	
ガソリン使用量の削減	1 タイヤの空気圧をこまめにチェックする	倉富	○	始業点検などの取り組みがほぼ定着しており、今後も継続していく。次年度は、前日のルート等の打合せ及び当日の事前点検の徹底
	2 法定速度の厳守、急発進・急加速の禁止		○	
	3 アイドリングストップを実施する		○	
	4 排気ブレーキは必要最低限で使用する		○	
	5 早めのシフトアップで回転数を上げ過ぎないようにする		○	
	6 現場移動は乗り合わせで行う		○	
	7 効率的な走行ルートの設定		○	
軽油使用量の削減	1 法定速度の厳守、急発進・急加速の禁止	倉富	○	始業点検などの取り組みがほぼ定着しており、今後も継続していく。次年度は始業前の使用重機の点検の徹底
	2 アイドリングストップを実施する		○	
	3 早めのシフトアップで回転数を上げ過ぎないようにする		○	
	4 仕事内容に応じた重機を選定する		○	
	5 車両や重機をリースする場合は、省エネ仕様車を選定する		○	

4. 水使用量の削減（責任者：倉富）

取組目標	活動計画	責任者	実施状況	評価と次年度の取組内容
水使用量の削減	1 蛇口を確認する	倉富	○	節水の取り組みが定着しており、今後も継続していく。次年度も継続する。
	2 洗車をする場合は、最小限度の水量で行う。		○	
	3 散水する場合は、放流水を使用する		○	
	4 定期的な漏水チェックする		○	
	5 雨水を有効利用する		-	

5. 化学物質の適正管理（責任者：倉富）

取組目標	活動計画	責任者	実施状況	評価と次年度の取組内容
スチオンの使用量削減	1 害虫早期発見のため、巡回を入念に行う	倉富	○	適正管理の取り組みが定着しており、次年度も使用中止を継続する。
	2 害虫発見時は補殺を心掛ける		○	

6. 騒音・粉塵発生の抑制（責任者：倉富）

取組目標	活動計画	責任者	実施状況	評価と次年度の取組内容
騒音発生の抑制	1 時間外での作業は事前に連絡・確認する	倉富	○	近隣への配慮などの取り組みが定着しており、今後も継続していく。次年度は低騒音重機への計画的な買換えの検討
	2 19時以降の作業はしない(就業時間の厳守)		○	
	3 低騒音の機器を使用する。		○	
	4 住民からの苦情・要望を受け付ける。		○	
粉塵発生の抑制	1 乾燥時には、灌水を行う。	倉富	○	事前打ち合わせなどの取り組みが定着しており、今後も継続していく。次年度も継続する。
	2 現場内及び出入口では、粉塵を起こさない。		○	
	3 車輛の急発進を禁止する。		○	
	4 住民からの苦情・要望を受け付ける。		○	

7. 地域社会貢献（責任者：大橋）

取組目標	活動計画	責任者	実施状況	評価と次年度の取組内容
地域活動参加	1 現場の工事開始時と終了時の周辺清掃・除草作業を行う。	大橋	○	取り組みがほぼ定着しており、今後も継続していく。次年度も継続する。
	2 工事現場事務所にプランターを設置する		○	

実施状況の判定 ○:実行されている △:実行されているが十分ではない ×:実行されていない -:判定できない・該当しない

8. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価

「環境関連法規等の遵守状況を確認した結果、環境関連法規等への違反はなく、また、関係当局からの違反等の指摘もありませんでした。」

	環境関連法規等の名称	遵守状況 確認結果
1	廃棄物処理法	○
2	ラージリサイクル法	○
3	建設リサイクル法	○
4	容器包装リサイクル法	○
5	家電リサイクル法	○
6	自動車排出ガスト措法	○
7	オフロード法	○
8	排出ガス対策型建設機械普及促進規程	○
9	騒音規制法	○
10	振動規制法	○
11	土壌汚染対策法	○
12	自然環境保全法	○
13	都市緑地法	○
14	建設工事公衆災害防止対策要綱	○
15	騒音規制法	○
16	振動規制法	○
17	大気汚染防止法	○
18	労働安全衛生法	○
19	福岡県環境保全条例	○
20	福岡県公害防止等生活環境の保全に関する条例	○
21	福岡市環境基本条例	○
22	福岡市廃棄物の減量及び適正処理等に関する条例	○
23	福岡市空き缶等の散乱防止及びその再資源化の促進に関する条例	○
24	小型家電リサイクル法	○
25	フロン排出抑制法	○

9. 代表者による評価と見直し結果

エコアクション21を導入し13年が経過し、社員の環境意識が高く、企業での環境負荷の低減を行うとともに積極的な環境への取り組みが出来つつある。

業種柄工事内容、工事現場によってガソリン、軽油の使用量が大きく変わりますが、社員の意識向上により環境負荷をいかに減らせるか、日々努力工夫をし、積極的に提案をしています。

今年度は、総二酸化炭素排出量は98%でほぼ目標達成であった。本社の入退寮の影響で、電気使用量99.5%・液化石油ガス0.01%・水使用量79.4%であった。現場では大型の工事が少なかったため軽油使用量が大幅に減少し過去5年間で最小使用量となった。5月から遠方の工事を受注しガソリンの使用量が増加した。

総二酸化炭素排出量はほぼ達成できており、原因と対策も把握しているので、次年度は環境方針、環境目標、環境活動計画、実施体制も変更なく取り組んでいきます。

2023年1月に福岡市Well-being&SDGsに登録。2023年7月に福岡県SDGs登録し社員とその家族共に環境負荷の低減に取り組んでいます。

